

一般貨物自動車運送業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	6～7	砂利プラント内でダンプに砂利を積み、動いている時によそ見をしたため前に止めてあるダンプに追突してしまった。なお、追突されたダンプは無人であり、本人は命に別状なし。	65	10～29
1	10～11	視界不良のため右折しようとして、中央線によって停車していたダンプカーの発見が遅れ、ダンプカーの左後部に本事業所のトラクターが追突してしまった。	41	1～9
1	3～4	走行中、自動車道上り車線パーキングエリア手前800m位で、凍結路面により車輦が横滑りしたため、立て直そうとハンドル操作をしたが、車輦がそのまま横滑りし、ジャックナイフ状態になった。	46	10～29
1	11～12	脇見運転によりセンターラインをはみ出し、対向車両と衝突した。	62	30～49
1	20～21	配送のため2車線の左側走行車線を走行中、前方に接触事故を起こしていた4t回送車（ハザード点滅なし、無灯光）が停車しており、路肩は狭く道にはみ出しており、また、周囲も暗かったため前方の車に気付くのが遅れ接触し、前方の大型車両にも追突して受傷した。	39	10～29
1	6～7	大型トラックでの配送を行い、配送業務が終了し、帰社するため走行中、後方より大型ウイング車に追突された。事故相手から聞いた証言では、居眠り運転をしていたとのことである。	58	10～29
1	14～15	事務所で荷物を積み、7tトラックで取引先である事務所へ向かっていた。下り線より出口の料金所へ向かうカーブでハンドル操作を誤り、車は横転し、首を痛め	3	—

		た。		
1	13~ 14	コンビニの駐車場に右折で入ろうとしたところ、反対車線直進中の車（軽トラック）が来ているのを気付かずに進入したため、自車（中型冷蔵トラック）の左側に相手車が衝突し、首にむちうちを負った。	45	10 ~ 29
1	20~ 21	下り車線、急に車が停車した為調べていた所、いきなり4トントラックが接触して、物損事故を起こして話し合い中、いきなり大型トラックが追突して来て、トラックの下敷きになって即死した。	54	10 ~ 29
1	12~ 13	高架をくぐり抜けようとしたところ、高さ2.7m・車両3.64m制限があり衝突し、助手席に乗っていたアルバイトとドライバーが病院に搬送された。アルバイトは、前歯が一本折れ、背骨に圧迫骨折と診断された。	29	50 ~ 99
1	7~8	自社倉庫に行った帰り道が渋滞しており、停止している中、後続車に追突され体を打った。	51	—
1	21~ 22	ETCゲートを通り、分岐点をまっすぐ進み分岐案内の標識の支柱に接触し、トラックのフロントはぐちゃぐちゃになり、トラックとの間に挟まれた。	34	50 ~ 99
1	13~ 14	交差点手前で、退社後、帰宅途上（バイク）にて追い越し車線を走行中に、並走していた車両が右折しようとして確認せずに追い越し車線に進入し、相手車両右後輪と当方バイク左側面と接触し負傷する。	39	10 ~ 29
1	13~ 14	客先に車で向かう為、県道を走行中、赤信号の為、前方車両に続いて停車したところ、後方車両から追突され負傷した。	55	300 ~ 499
1	3~4	前方からスリップしてきた対向車（4t平）が運転席側に衝突し、その衝撃で運転席が潰れ、ハンドルに挟まれ被災した。なお、4t平がスリップしたのは、その前に大型トラックが4t平に追突していたからの情報である。当時、22センチの積雪があり、最低気温はマイナス2.4℃であった。	51	50 ~ 99
1	4~5	路上にて、スピンし横に向いていた乗用車を避けようと徐行気味になり、停止していた4t車に気付くのが遅れ追突した後、後方より走行してきた4t車に追突された。	38	30 ~

				49
1	9～ 10	傾斜の長く続く道路でリアカーを引く自転車で下っている時に次の配達先手前でブレーキをかけはじめた際、バランスを崩して右側へ転倒し、右半身を打撲し、左手親指の靭帯を裂傷した。	49	30 ～ 49
1	1～2	本線へ合流する手前の加速時にスリップして左側に衝突後、本線へ飛び出し中央分離帯に衝突して停止した。	41	30 ～ 49
1	23～ 24	高速道の左側車線を毎時速80kmで走行中、指定の速度を超えそうになったので少し速度をゆるめた時に、後続して来たトラックに後方から追突された。	53	50 ～ 99
1	20～ 21	次の配達に向かう為、車両を停車し配達に向かう際に対向車を交わす時に、車両のライトに気を取られ、目測を誤り、用水路に落下し、左肩を負傷した。	44	10 ～ 29
1	21～ 22	荷物を運搬するため会社から出発し、約80キロで走行中、444.2kポスト付近は、当時積雪のため渋滞中であったが、車両に気づくのが遅れて前方の車に追突し、左胸を強打し、血気胸、左肋骨骨折を負った。	55	—
1	12～ 13	道路走行中、対向車がセンターラインを越えてトラック前方に衝突した。	34	50 ～ 99
1	20～ 21	荷卸しの為、荷卸し先の会社の前にトラックを止め、トラック後部のドアを開け、トラック後方より運転席へ戻ろうとトラックの陰から一歩踏み出した時に、トラックぎりぎりを対向して来た普通乗用車にはねられた。	51	30 ～ 49
1	11～ 12	農場で夜間の補修作業を終え、キャブオーバの貨物車に3人が乗り、駐車場（ベルトコンベア、長さ5m、重さ約50キロを運ぶため、常時キャブオーバの貨物車に載せて駐車し、乗り合わせて、その都度現場の農場に向かう場所）に向かうため、作業員①の運転で農場を出発し約1時間運転の後、運転を作業員②と交替し、貨物車の後部座席に乗って走行中、車が車道と側溝の間の土手に立ててある道路案内標識	63	30 ～ 49

		支柱に衝突し、打撲負傷した。		
1	11~12	農場で夜間の補修作業を終え、キャブオーバの貨物車に3人が乗り、駐車場（ベルトコンベア、長さ5m、重さ約50キロを運ぶため、常時キャブオーバの貨物車に載せて駐車し、乗り合わせて、その都度現場の農場に向かう場所）に向かうため、作業員①の運転で農場を出発し約1時間運転の後、運転を作業員②に交替し、貨物車の助手席に乗って走行中、車が車道と側溝の間の土手に立ててある道路案内標識支柱に衝突し打撲負傷した。	34	30 ~ 49
2	9~10	渋滞の為、停止している際、後方から追突された。	47	50 ~ 99
2	13~14	海砂を積載した10tダンプを走行中、アイスバーン状態のやや下りの右カーブでトラックの後部が尻振りを起こしたため立て直そうとしたが、制御できずスピン状態となり対向車線に停車していた貨物自動車に当方の左前側面と先方の運転席正面と衝突した。本件の事故割合は当方100%であり、現在運転手は左膝を打撲し通院中である。	48	30 ~ 49
2	8~9	トレーラーにて高速道路を走行中、トンネルを出た時に横風に流されてしまい対向車線へはみ出しそうになったのでハンドルを切り避難停車場所に入ろうとしたがガードレールを破って停止した。その時に負傷したものである。	42	30 ~ 49
2	2~3	当社へ向けて大型貨物車で運行途中、2車線から1車線に絞り込み地点で、相手車両が当方車両を抜かせると思い追い越し車線を走行したものの、当方車両の右側後方に衝突し、首・肩を痛めたものである。	45	50 ~ 99
2	5~6	配送中、赤信号に気付かず停車中の前方車両に衝突し負傷した。	22	30 ~ 49
2	12~13	交差点にて信号待ちのため停車中に後続車両に追突された。相手方は、停車後ギアが入っているにもかかわらず、クラッチを放してしまったため、前進して衝突してしまったとのことである。	36	—

2	12~13	荷降ろし完了後にトラックの荷台に上がり道具を片付けていたところ、後方から来た乗用車に追突され荷台の中で跳ね飛ばされて全身を強打した。加害者は救護することなく、車を置いてその場から立ち去ってしまった。	42	10 ~ 29
2	6~7	幹線道路に車を止め、新聞を降ろすため運転席から降り荷台に新聞を取りに行こうとした時に、右側から来た車に追突され負傷した。	58	10 ~ 29
2	10~11	配達途中の交差点を徐行で進行した際、交差点左手側（一旦停止標識あり）から車に突っ込まれ、反対側の電信柱までトラックごと飛ばされてしまい運転席ドアで右脚を強打した。	32	30 ~ 49
2	10~11	配達途中の交差点を徐行で進行した際、交差点左手側（一旦停止標識あり）から車に突っ込まれ、反対側の電信柱までトラックごと飛ばされてしまい運転席ドアで右脚を強打した。	32	1~ 9
2	5~6	片側2車線の第1車線を走行中、後方か居眠りで走行してきた4t車両に追突されたものである。被災者は救急搬送され、診断の結果、頸部挫傷と診断された。	46	30 ~ 49
2	18~19	走行中前の車が渋滞で停止している車に気付かず追突して右足小指を負傷する。	34	10 ~ 29
2	13~14	自車トラック（4t車）にて物品の配達を終え、会社へ戻るため上り線を走行中、渋滞最後尾で低速走行していた相手車である運送会社のトラックに追突した。その衝撃により全身を強く打ち死亡した。	60	30 ~ 49
2	5~6	上がり線で運転中、衝突事故を起こし停止していた大型貨物車に追突し負傷した。本人意識不明の為詳細不明。過失割合、本人：相手、10：0。	51	10 ~ 29
2	13~14	配達の為、客先前の路上に駐車し、降車して車両右側面を荷台に向かって歩いていたら、後続車の相手方車両が当方車両の右側を通過する際、車間間隔を見誤ったために相手方車両の左ミラーが被災者の左腕に接触し負傷したものである。	36	50 ~ 99

2	4~5	<p>出社後、トラックへ乗り換える為にトラックを駐車しているところへ乗用車で向かう途中の信号のある交差点で右折をする為に交差点の真ん中で待機し、信号が青になったので右折を開始した際、赤信号の直進車が左側面前方に衝突してきて、その衝撃で手首を運転席のドア内側にぶつけて右手首を骨折した。</p>	38	50 ~ 99
2	4~5	<p>貨物自動車で行中、相手がセンターラインを越えて対向してきて自車の右側に接触した際に負傷した。</p>	38	10 ~ 29
2	4~5	<p>交差点にて、4tトラックで荷物を載せて走行していた。時速50km~60kmで走行中、前をよく見ていなかった為、信号待ちしていた10t車両に追突した。</p>	59	10 ~ 29
2	21~22	<p>高速道路を大型トラックで行中、軽トラックが逆走してきた。急ブレーキをかけたが間に合わず、当該車両前面中央部と相手車両前面中央部が正面衝突した。衝撃で、頸椎・肩・腕・脚がむち打ちになった。</p>	55	30 ~ 49
2	22~23	<p>高速道路を走行中に、後ろを走行していた乗用車に追突された。なお、当社は労災とは認めていない。</p>	43	10 ~ 29
3	6~7	<p>走行中、圧雪で25tトレーラーがスリップしてセンターラインをオーバーし、反対車線を走行していた大型トラックと正面衝突し、運転席が破損し負傷した。</p>	32	10 ~ 29
3	1~2	<p>業務走行中に脇見をし、信号待ちで停止中の車に気づかずに追突した。その反動で対向車線の停止車両にも衝突し、さらにその横に停止していたオートバイクが驚いて転倒する事故となった。当人は右足等の骨折を負った。</p>	43	30 ~ 49
3	5~6	<p>ポリエチレン製品を4tトラックにて、運搬作業中、交差点にて信号待ちで青になったため右折し直進走行中、二つ目の交差点で進行方向左側からの走行車両と衝突し負傷した。</p>	68	1~ 9
3	15~16	<p>一般道を走行中、縁石に左フロントタイヤを乗り上げバーストし、車は制御不能の状態です。10 t トラックが民家へ衝突した。助手席に乗っていたため、フロントガラ</p>	41	50 ~

		スが左手肘から手首に飛び、救急車で搬送された。		99
3	4~5	4t車で走行中、前を走行するトレーラーが急に対向車線にはみ出して進路変更をしたところ、前方に真横になっている乗用車があった。急ブレーキをかけたが、橋の上で路面が凍結していたため、スリップして止まりきれず衝突した後、対向車線にはみ出して側壁に衝突し、その衝撃で怪我をした。	40	100 ~ 299
3	6~7	現場に向かうためにダンプを運転して一般道を走行中、前日の雨で荷台に水が溜まっていたので水を流すためにダンプUPした後そのまま走行してしまい、情報板に激突して腰部と胸部を負傷した。	47	1~ 9
3	14~15	顧客店舗へ向かうため走行中、渋滞が発生し始め、前方車両が停止したため当車も停止したところ、後続車両に追突された。	39	300 ~ 499
3	1~2	産業道路の交差点に近づいていた所、わき見をしてしまい、赤信号で停車中の車両に、ブレーキを踏んだものの間に合わず、後方から追突された。オフセット衝突で前方の車両は交差点に押し出され、自車の前方部とハンドルに全身を激しく打ちつけられ、左第4指末節骨骨折、左第2趾基節骨骨折、左第1趾末節骨骨折、両側肋骨骨折を負った。	46	30 ~ 49
3	14~15	道路上にて運転業務中、渋滞していた前方車に追突し、腰椎捻挫・頸椎捻挫・足首捻挫を負った。	47	1~ 9
3	10~11	IC付近高速道路走行中、渋滞最後尾にて低速走行に4tトラックに追突された。	55	10 ~ 29
3	15~16	道路をトレーラーで走行中、後方から走行してきた乗用車が中央分離帯に衝突し、その反動でトレーラー左側面に衝突され、その影響で道路左側のガードレールに衝突し、被災者が負傷した。	48	30 ~ 49
3	16~17	自車大型トレーラーに乗車し直進走行中、相手車が反対車線から向かってきた大型トラックが交差点を右折したところ、同車線の右折車線の車が死角となり、交差点内にて衝突した。	25	50 ~ 99

3	0~1	中央道下り線の走行車線（左側）を走行していた。前方において大型トラック2台が追突し、積み荷のペットボトルが散乱するという事故があり、後続車がハザードを点灯していたが、夜間で気付くのが遅れてしまい、ブレーキをかけ65km程度まで減速したが止まり切れずに、追い越し車線と走行車線をまたいで停車していた大型トラックに運転席側からぶつかる形で追突した。運転席の脇をかする形で追突したため、エアバッグが開かずにケガを負った。	55	1~ 9
3	5~6	配送を終え帰社する移動中、カーブにて前方路肩に停車しているトラックに追突し負傷した（慢性硬膜下血腫）。	45	50 ~ 99
3	5~6	ドライバーが走行中、交差点の信号が赤のため停止していたとき、相手方後継車両が追突してきた。	41	30 ~ 49
3	4~5	手間1.6km付近の路側帯に停車していたところ、タンクローリーに追突された。	47	30 ~ 49
3	4~5	商品配達業務に従事中、目的地に北進中、出口通過して数百m付近で右にハンドルを切り過ぎ、運転ミスのため中央分離帯に激突して横転し、右足を骨折した。	21	30 ~ 49
3	5~6	交差点赤信号で止まっていた4t車に追突し、さらに4t車が前の大型車に追突し、弊社2t車を運転していた（51才）死亡した。	51	10 ~ 29
3	18~19	運搬業務終了後、事務所に戻る途中、交差点に差し掛かった際に信号が黄色となったので停車するためブレーキをかけたが、雨天のため路面状況が悪く、スリップしてしまい、運転席が側壁に衝突し、負傷した。	23	30 ~ 49
3	10~11	合流しようとして停止車線で一旦停止した際、後方から来た相手方に追突された。	47	100 ~ 299

3	22~23	路上で工事用車両として待機中、規制内に入ってきた一般普通車両に追突された。	41	10 ~ 29
3	12~13	トンネル内で渋滞中（被害者のトラックは停止していた）、後ろから追突された。	53	10 ~ 29
3	0~1	会社から工場へ行く途中、交差点で黄点減で進入したところ、右側から車が衝突した為、首と腰を強く打った。	37	1~ 9
3	16~17	配送先から次の配送先へ行く途中、道路を直進して交差点を通過後、考え事をしていたため、反対車線沿いに植えてあった街路樹に衝突し、横転して意識を失った。	55	10 ~ 29
4	3~4	大型トラックにて走行中、片側1車線（中央分離帯なし）の直線道路にて、センターラインを越え上り車線に進入した際、対向車線（上り）を走行していたダンプカーと正面衝突した。その際に全身を強く打ち、心肺停止の状態で見送られたが、病院にて死亡が確認された。	43	10 ~ 29
4	3~4	自社にて点呼を終了し、積地へ向かうべく出庫したあと、対向車がセンターラインを越えて自車の方に向かって来たため、避けようと左側にハンドルを切るも、ガードレール等に阻まれ、正面衝突となった。	30	100 ~ 299
4	12~ 13	大型ダンプ（12t車）に砂利を積み納品のため走行中、足元に小物を落としてしまい、それを拾おうと一瞬目をそらしたときにセンターラインをオーバーし、対向車の大型自動車に激突した。	47	1~ 9
4	11~ 12	引越業務のため、お客様の引越先へ向かうため道路を走行中、居眠り運転のため、赤信号で停車中の前車両へ追突し、背中と腰を打った。	32	1~ 9
4	13~ 14	積み込み配達の為、配達先へと向かう途中で居眠り運転をしてしまい、停車中の車両後方に追突させ、右膝打撲を負った。	42	100 ~ 299
	11~	市役所入口交差点から走行中、前方からの対向車が擦れ違い場所へ進入した為、安		50

4	12	全を確認してから通り抜けようと一旦停止したところ、後方より車間距離を詰めて走行していた相手加害車両に追突された。	49	～ 99
4	1～2	軽自動車のピックアップトラック（後部が平ボディ）を陸送中、頂上からの下りの区間でアクセルも踏んでいない状態で突如としてエンジンの回転が最大にまで上昇し、ブレーキを踏みっ放しでエンジンブレーキも併用したが止まらず、雨でスリップして遂には側壁へ激突した。	64	～ 29
4	10～ 11	建設発生土を積載したトラックが側道に入り、処分場に向かって運搬中、山道に入ったところ前日の雨により砂利道の一部が軟弱な地盤となっており、トラックが左により過ぎたこともありハンドルが取られ、フロントタイヤは脱輪、トラックは左に傾き横転し、運転手は手足を負傷及び脳内出血した。	80	1～ 9
4	11～ 12	事業所へトラックを運転して走行中、市内の下り坂のカーブのあるところで反対車線を走行してきた乗用車がセンターラインをオーバーして、当方の右側側面に衝突してきたため、ハンドルが効かなくなった状態で反対車線に飛び出しガードレールに衝突し、右膝を負傷した。	64	～ 29
4	14～ 15	鉄道高架下をトラックで通過しようとしたときに、高さ制限の注意を怠り進入したためトラックの荷台部分が制限バーに当たって損壊し、その衝撃で背骨を骨折した。	23	—
4	0～1	高速道路下りを走行中に、50km付近にて道路工事による渋滞車両が停止していたところ、前方不注意のため追突事故を起こし、当方も全身打撲となった。	52	～ 49
4	1～2	自動車道で工事渋滞中に停車していた所、居眠り運転の大型トラックに追突され横転し、頸椎捻挫を負った。	41	～ 99
4	16～ 17	交差点で信号待ちで停車中に後方から追突された。	47	～ 29
	11～	既定便を終え、帰庫のため走行車線を回送中、渋滞により前車が減速したので自転車		50

4	12	も続いて減速したところ、追い越し車線から相手方車両が走行車線側に切れ込み、 自車右後方部分に衝突し、頸椎等を負傷した。	48 99	～
4	0～1	下りを走行中、後方車輛に追突された。	35	10 ～ 29
4	12～ 13	路上にて台車を用いて徒歩で集配中、前方から走行してくる車両に気付き、道路端 の安全帯にてやり過ぎそうと待機していた所、相手車両左側前方部が台車に接触 し、台車が左足部に接触し打撲する。	19	10 ～ 29
4	8～9	走行中、対向車（4tユニック車）が中央線をはみ出して走行して来たので、クラク ションを鳴らし、減速したが避けきれず、運転席側同士が正面衝突し、右手首打撲 及び首鞭打ちを負った。	43	30 ～ 49
5	23～ 24	走行中、お客様情報記載のメモを取ろうと目線を助手席に向けたところ、道路上の 穴か何かにハンドルを取られ中央分離帯にぶつかった。	25	1～ 9
5	2～3	走行車線を走行中、前方を走っていたトラック（2tか4t）がブレーキを踏み走行速 度を落としたため、追い越し車線に移動し追越したところ、その先で事故を起こし て横転していた4tトラックに衝突した。	42	10 ～ 29
5	2～3	走行車線を走行中、前方を走っていたトラック（2tか4t）がブレーキを踏み走行速 度を落としたため、追い越し車線に移動し追越したところ、その先で事故を起こし て横転していた4tトラックに衝突した。	38	10 ～ 29
5	15～ 16	荷物配送先からトラックを運転して帰社途中、信号で信号待ちをしていた大型ト ラックに、よそ見をしていて追突し、左脚等を強打した。	63	10 ～ 29
5	6～7	乗務前点呼終了後、積み込み地に向けて、車庫を出発した。下り車線で脇見運転 をした為、前面の路肩においてあるブロックゲートを避けきれず（コンクリート 製）に乗り上げ衝突した。	56	10 ～ 29
5	9～ 10	配達走行中、対向車が自車の10m横前方から、センターラインをはみ出し突っ込ん で来て、正面衝突した。その際に、運転席に体を挟まれ負傷した。	52	30 ～

				49
5	20～ 21	4t車両にて走行中、駐車車両がいた為減速し、停車する寸前に後方を走行中の相手車両が追突してきた。	54	50 ～ 99
5	14～ 15	トレーラー車28tを運転し、現場で積荷をおろし、次の現場に積荷（鋼材）を取りに高速道路で向かっている途中、分岐点で向かう方向を一瞬迷い、ハンドル操作を誤り、分岐点の間に立つ柱に正面衝突をした。その際に、左手および顔面等全身を強打し負傷した。	57	1～ 9
5	2～3	道路下り線を走行中に前を走るトレーラーに追突した。その反動で自車が横転し、後続車輛の大型トラックとトレーラーが横転した状態の自車に衝突した。	52	30 ～ 49
5	17～ 18	下り線をトラック（積載量12300kg）にて走行中、前方の渋滞に気づきブレーキを踏んだがスリップし、前方車に追突した衝撃により、車内で右膝を強打し負傷した。	39	100 ～ 299
5	13～ 14	中央分離帯のある交差点を右折信号の点灯後に右折し、右折後すぐにある信号も青であったため交差点に進入したところ、左側（対向車）から来た車両が自車両左前方に衝突し、両車両が大破した。	52	10 ～ 29
5	18～ 19	車が2台通れる場所（道路）で宅配便の荷物を配達しようとしている時に、小さな荷物を配達しようと左足を後ろに引いた際、相手方車の左リヤタイヤに左足のくるぶしが接触してしまった。後ろに下がる為に後方を確認していなかったこと、左足一步が当たると思っていなかったこと、車両が車の横を通り過ぎていくとは思っていなかったことが原因と思われる。	43	10 ～ 29
5	14～ 15	積み込みに行く時、追越の際に雨が降っていて、路面が滑りやすくなっていたのでスリップし、道路の中央分離帯にぶつかった。	33	30 ～ 49
5	11～ 12	タイヤ店で修理をしてもらった後、会社へ帰る途中に店に携帯を忘れた事に気付いた。タイヤ店の道を挟んだ向かいに車を止め、携帯を取りに行き、車に戻る途中	25	10 ～

		に右横から速度を落とさず走ってきた2t冷凍車にはね飛ばされた。		29
5	4~5	配送を終え、センターへ帰社途中、運転中に居眠りか脇見運転により住宅石柱に追突し、ハンドルを取られ道路反対側の住宅ブロック塀に衝突してトラックが停止した。	26	30 ~ 49
5	3~4	交差点において赤信号で停止中、後方から走行して来たトラックに追突され、頸部捻挫他の怪我を負った。当日は搬入現場に向け走行中であった。	51	50 ~ 99
6	14~ 15	片側交互通行工事現場にて、前方不注意により、工事車両に追突した。そのため左手甲の腱が切れ、病院で7針縫合した。	48	50 ~ 99
6	3~4	スクラップを積み出発した。交差点において赤信号で停止し、青信号で動き始めたところに追突された。	42	10 ~ 29
6	8~9	積み荷の配送先付近路上において、屯トラックで住宅資材の配送作業中、道路反対側の配送先に確認連絡の為、路肩に車を停車して徒歩で道路を横断し、再度道路を横断して車に戻りかけた際、車の後方から停車中のトラックを追い越して走行してきた自転車に気付き、避けようとしたが、両者共に同じ方向に避けようとした為、自転車にぶつけられて転倒した時、頭部を打ち負傷した。	66	10 ~ 29
6	12~ 13	普通トラックで走行中に、前のダンプに追突し、右手小指を負傷した。	51	30 ~ 49
6	6~7	取引先の工場へ荷物を配送して、その帰りの事故である。大型トラックを運転中、道路が右カーブに差し掛かった時、オーディオの操作をしていて、目線を下に落とした際に、街路灯に衝突し、縁石に左前タイヤを乗り上げた。その時の衝撃でシートベルトが締まり、むちうち状態になり、首・左肩・左足に痛みが発生した。	49	50 ~ 99
		仕事を終了し、倉庫に向けてワンボックスカーを運転していた。高速道路の渋滞		30

6	0~1	と、当日朝に服用していた鼻炎の薬の影響で、眠気を感じながら運転していたところ、信号待ちで停止しているトレーラーに追突した。追突時のシートベルトの締め付けにより、右鎖骨を骨折した。	49	~ 49
6	10~ 11	ドライバー研修中、交差点の信号待ちにて停車中、後方より追突された。	36	1~ 9
6	10~ 11	ドライバー研修中、交差点の信号待ちにて停車中、後方より追突された。	25	1~ 9
6	16~ 17	配送の荷物を積み込むため本社から向かい、1km程走行したところで、道路中央線を越えてきた対向車に衝突した。衝突を避けるためにハンドルを左に切ったところ、道路脇のコンクリートの土留めに当たり、トラックが右方向に転回し、反対車線側の側溝にはまった。その際に、腰・肩・前腕・下腿に挫創・挫傷を負った。	43	10 ~ 29
6	11~ 12	走行中、被災地の場所に差し掛かった時、トレーラーの台車がぶれ出し、ジャックナイフ状態になり、右前方のトンネル側壁に激突し、はずみで左側壁に衝突し停止した。その時、頸椎・胸椎・腰椎・その他を捻挫・打撲・骨折の負傷をしたものである。	30	30 ~ 49
6	3~4	トレーラー運転中、中央分離帯のガードレールに接触しながら突き破り、対向車線に飛び出し横転する。（転覆）詳細については、現在調査中につき不明である。	43	10 ~ 29
6	2~3	料金所を通過した後、右側に寄りながら走行中、右後方を確認し、前方に視線を戻したところ、前方にガードレールがあり避け切れず追突した。（単独事故）	36	10 ~ 29
6	14~ 15	高速道路で渋滞が発生し、前方の車両から順次停車を行ったところ、大型車両が後方の車両に追突して多重追突事故となり、首と背中と腰を負傷した。	47	50 ~ 99
6	3~4	高速道路走行中、事故を起こし（現在詳細確認中）、トラックから降りて相手方の怪我の有無を確認し、二次災害防止処置等を行っていたところ、後続の大型車両に撥ねられた。	52	30 ~ 49

7	4~5	積込した製品を工場へ配送中に助手席で休んでいたところ、自車が前方停車中の車両に追突した。	40	10 ~ 29
7	23~24	大型トラックを運転して時速80キロメートル程で荷物を搬送中、走行車線から追越車線に進路変更をしたところ、その10分程前に起きた普通乗用車（A）との追突事故で横転していた軽乗用車（B）に衝突した。その後、中央分離帯のガードレールに衝突しながら走行した後停止したが、ガードレールに衝突した際にキャビンが変形して下半身が挟まれ負傷した。	56	30 ~ 49
7	15~16	車輻を運転中、脇見運転をしたことにより渋滞中の車列に後方から追突してしまい、運転席に下半身を挟まれ救急隊により救出されたが、左膝及び腰にケガを負った。	35	10 ~ 29
7	11~12	被災者は、同従業員の運転するトラックで下り坂を助手席に乗り配送中、車が雨で濡れた道路で誤ってスリップし、左側のガードレールに接触、その反動で斜め右方向の土の法面に乗り上げ横転、首、肩、背中、腰等を打ち付け打撲した。	21	10 ~ 29
7	3~4	配達先に大型トラックで向っている途中、高速でエンジントラブルを起こし、ガードレールにぶつかり、全身を打って負傷した。	69	10 ~ 29
7	13~14	住宅地の道路から大通りへ出る交差点の信号にて停止をした際に、後続の乗用車に追突された。	39	100 ~ 299
7	4~5	走行中、前方の車列が赤信号で停止していたので、速度を落として停止しようとした際、急に後ろからトラックに追突された。	35	30 ~ 49
7	12~13	コースのバンカー砂上げ作業をスコップで行っていた。10番ホールFWバンカー内の砂上げ作業中に腕や首に痛みが生じた。	46	50 ~ 99
		配達に向かう時、右車線走行中、居眠り運転してしまい、右側の壁に衝突したた		10

7	0~1	め、トラックのエアーバックが出て、骨折、右腕打撲した。	41	~ 29
7	17~18	社命により参加し、オートバイ（250cc）にて帰宅途中、道路上において、直進していた処、前方左から急にトラックが飛び出してきた。その際、トラックの荷台にぶつかり、体が当該トラック荷台に飛び込み、右膝、右脹脛、全身を荷台地面に打ち、負傷したものである。	31	50 ~ 99
7	12~13	DM便をバイクで配達をしていた。2ブロック目の配達を終え、次の配達先に行こうとバイクを切り替えした所、バイクが転倒し、左足がブロックとバイクにはさまり、左足すねからふくらはぎにかけて打撲と裂傷と診断された。	52	30 ~ 49
7	23~24	片側2車線路上で商品車を降ろす作業の準備のため、ワイヤーを外す作業中に、後方から車輻に追突された。追突の衝撃により、車体に左半身を打ちつけた。数時間後に体が痛みだした。	33	50 ~ 99
7	9~10	利用者宅において、サービスを終了し退出しようとした際に裏口の段差を降りようとしたところ、バランスを崩し転倒しそうになり、その際に左ひざを置いてあったブロックに強打し負傷したものである。	49	1~ 9
7	0~1	店外のゴミ箱を洗おうと勝手口を出たところで、ホースに引っかかりつまずいて転倒した。その際、左手首を骨折した。	56	30 ~ 49
7	8~9	交差点赤信号停車時、後方より来た相手車両に追突される。	52	10 ~ 29
7	14~15	大型トラックを運転中、自動車道上り線のトンネルとトンネルの間で渋滞にて停車中に後部の大型車輻に追突された。首、背中が痛かった。	43	10 ~ 29
7	23~24	トラックで下りの終点付近を走行中、上り車線から下り車線に変わる見通しが悪い場所で信号待ちをしていた前方のトレーラーに衝突。スピードが出ていたためブレーキを踏んだが間にあわず、トレーラーの後方から追突し、その際の衝撃で足を	43	10 ~ 29

		骨折した。		
7	1~2	走行中、前方にて事故が発生し、停車中の車A、Bを回避しようとしたが間に合わずBに追突したはずみで左側道のガードフェンスに衝突し、胸部を強打したもの。	44	100 ~ 299
7	17~18	町道で御中元の荷物を配達に行く途中、町道脇の小川に運転していた軽ワゴンと共に約4m下に転落し、首の損傷のため亡くなった。ブレーキ痕なし。	72	1~ 9
7	4~5	カゴ台車に入った食品を駐車場から店舗に納品する際、昇降機に載せる時に台車（カゴ車）が倒れた。	56	10 ~ 29
7	14~15	時速40kgで走行中、脇見運転により赤信号で停車中の乗用車、トラックに気づくのが遅れた。真正面に停車していた乗用車をかわそうと乗用車の右側後部をかすめ、隣の車線の右前方に停車中の大型トラック左側後部に追突する交通事故を起こした。	59	30 ~ 49
7	11~12	信号待ちのため停車中、小型トラックから追突された軽乗用車に追突された。	25	100 ~ 299
7	7~8	走行中、ハイドロプレーシング現象に由り、スリップ事故を起こし、その際に運転席の床奥側に右足親指を強打した。痛みが強くなり、内出血もしていたため病院に受診させたところ、打撲と内出血と診断された。	39	50 ~ 99
7	11~12	住宅地の道路で配達作業をしている時に車両が自走しはじめたため、車両を止めようとして運転席に乗り込もうとしたが、それができずに道路脇のコンクリート壁と車両の間に挟まれてしまった。	33	10 ~ 29
7	3~4	トラックの荷物を運搬するために走行中、対向車が急にセンターラインを越えて進入して来たので回避する間もなく衝突した。救急車で近くの病院に運ばれ応急処置をしてもらって帰ってきた。	63	1~ 9
7	22~23	高速道路にて、自車両のエンジントラブルにより、路肩にハザードを出して停車し、三角灯を出そうと外にいたところ、相手車に追突された。	38	10 ~

				29
7	14~ 15	工場にて積み込み後、配送先に向け運行を開始した。対向の2t車がセンターラインをはみ出し接近してきたため、クラクションによる注意喚起をし、ブレーキを掛けながら左側へ寄せたが、回避できず、正面衝突をした。	49	10 ~ 29
7	17~ 18	道路を直進していたところ、右後方より当方右側面に追突された。	39	50 ~ 99
7	12~ 13	配達後、道路反対側に駐車していた車両へ戻るために道路を横断しようとしたところ、相手車が減速したため、譲ってくれたと思い車道上へ出たが、相手車は停止せず、衝突して転倒し、頭部を路面に打ちつけた。	38	300 ~ 499
7	15~ 16	2tトラックで会社に戻る途中、県道において、信号待ちで停車している車両に追突した際に負傷したものである。	21	30 ~ 49
7	5~6	集荷場所に向かうため、片側二車線の道路を走行中、道路の段差により、ダッシュボードの上に置いてあった書類等の小物が車内に落ち、それを拾おうと手を伸ばし、目線を下に落としたため前方不注意となり、前方の車両の発見が遅れてしまい、ブレーキを踏んだが間に合わず、前方車両に追突した。その際、本人が急にブレーキを踏んだため、後方を走行中の車両にも追突された。	42	50 ~ 99
7	4~5	トレーラーにて鋼材を運送中、T字路を青信号にて通過しようとしたところ、左方向から赤信号を無視して右折しようとした交差点に進入してきた軽乗用車と衝突した。	64	10 ~ 29
7	23~ 24	積込後、何度か休憩をとりながら走行中、考え事をしていため、交差点手前にて赤信号で停車していたトラックに追突した。	47	10 ~ 29
7	5~6	配達が終わりに会社に戻る途中で、運転操作を誤り、中央分離帯に乗り上げ衝突し、全身を強打した。	30	30 ~ 49

7	21～ 22	トラックにて運送中、交差点方面へ走行中、交差点手前の左折レーンに路に駐車車両があったため、右側に回避しようとしたとき、自車の助手席側と相手車両の運転席側後方が衝突し、首骨を負傷した。	48	30 ～ 49
7	13～ 14	高速道路を走行中、出口付近で道路工事が行われており、ハンドル操作の誤りにより、工事区間のバリケードに衝突した。	47	30 ～ 49
7	3～4	トラックに乗務し走行中、居眠りをしてしまい、左側側壁へ衝突し、その反動で中央分離帯へ乗り上げたあと、横転した。	51	50 ～ 99
7	6～7	車庫でコンテナシャーシを繋ぎ、車庫から道路に出る際に、1台が走り出し、そのトレーラーの後ろに続き走り出し、左折して道路へ出ようと頭を出したが、前方のトレーラーが停止して動かなくなったために停止した。窓から覗いてもなかなか動かず、何があるのか分からない状態で、降りて見に行こうと思ったときにバックしてきたので、何度もクラクションを鳴らし停止を促そうとしたが、後退し、コンテナシャーシとトレーラーヘッドが逆突した。	29	10 ～ 29
7	8～9	荷物運搬の業務中、運転している途中に飲み物を取ろうとしたとき、車道から左側の草むらにタイヤが逸れてしまったため、ハンドルが操作しにくくなり、左側前にあったガードレールに衝突した。	22	30 ～ 49
7	15～ 16	走行中、後方より追突され、救急車で搬送されたものである。	49	100 ～ 299
7	6～7	インターチェンジを走行中、事故渋滞に気づかず、前方車両に追突した。	31	30 ～ 49
7	6～7	自動車道下り線にて、前方500～600m先で発生した多重衝突事故による渋滞中、後方車より追突された。	41	10 ～ 29

7	4～5	交差点付近の緩やかな右カーブを走行中、運転席左横のボックスの上に置いていた運行表と手帳が左足元に落ちたので、拾おうとし運転をしながら左手を下に伸ばした。その際、トラックは左側標識に接触しながら縁石に乗り上げ、樹木に衝突し、約1m20cm下の畑に落ちた。このとき、トラックの前方が押し潰され、右脚を負傷した。	56	100 ～ 299
9	14～ 15	市道で車輛を駐車場に入れようと右折しかけた時に、相手車輛が出てきており接触。その時、頭部を運転者が窓ガラスに打ちつけて、首を痛めたと思われる。	27	10 ～ 29
9	19～ 20	配達を終え、帰社途中、一瞬気が緩んでしまい停車中のトラックに追突してしまい、右鎖骨および左足首を負傷したものである。	54	10 ～ 29
9	22～ 23	7tのバルク車を運転して飼料の配達後、運転席の脇に置いてあった伝票に気を取られてハンドル操作を誤った。縁石に乗り上げ、電柱にぶつかり停止して、救急車にて搬送された。	57	10 ～ 29
9	8～9	配達先の道路で、原付バイクのエンジンをかけていた際、なかなか始動しなかった状況で、ブレーキの握りが甘くなっていた為、エンジン始動時はバイクが進み、転倒、顔面を裂傷したものである。	45	10 ～ 29
9	20～ 21	業務が終わり、車庫にトラックを駐車し、事務所へ戻るため、バイク（自己所有、通勤使用）にて走行していた。片側2車線の道路を走行中、交差している道路左方面より乗用車が自身が走行している車線に右折をして来ようとしているが、乗用車は一旦停止したが、当方バイクが通りすぎる前に右折を再開したため、乗用車とバイクが衝突した。	44	10 ～ 29
9	4～5	運転中に、物を拾おうとしてハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突した。	33	100 ～ 299
9	3～4	走行中トンネル内の緩い左カーブに差し掛かった際、車体が路面の段差にてバウンドその時何かが車内で転がり落ちた様を感じそちらの方に視線を移した際、前方への注意が散漫に成りセンターラインをまたいでしまい、対向車線に車体がはみ出し	49	30 ～

		対向車線の大型トラックの運転席側と当方の運転席側が正面衝突した物である。		49
9	2～3	交差点近くをトラックにて走行中、眠気がきたのと、脇見をしてしまったことで、信号が赤になっているのに気付かず、前方車両に追突した。	34	1～ 9
9	15～ 16	商品の集荷へ向かう為に、交差点にて赤信号の為停車（信号最前列）していた所、2台後方より玉突き過失を受けた。前に違和感を感じた為、病院へ、頸椎捻挫全治10日間の診断を受けた。	26	100～ 299
9	10～ 11	一般道をトラック配送中、運転中に居眠り運転をしてしまい、トラックで民家の塀に衝突。民家の塀と植木を壊す交通事故を発生させた、その際、腰を打撲したものである。	48	30～ 49
9	17～ 18	エリア内で直進中、進入路に差し掛かる際、左側のみ目視確認をただけで右側を見ずに走行してしまい、右側から走行していたトレーラーに全く気付く事なく、トレーラーの荷台の左側面に追突した。	45	50～ 99
9	14～ 15	配送の為、道路上り線を時速76km/h程で走行中、前方不注意により工事渋滞中の車列に追突し、右手腕、右膝等を負傷した。追突した前方トラック運転手は左足や腹に打撲等あり、さらに前方のトラック3台の運転手は首打撲等の怪我あり。労働者は追突したときに右手関節捻挫及び右膝右下腿、右前腕挫創（右膝裏縫合あり）。	31	10～ 29
9	16～ 17	大型マンションの配達を終え、車内でお客様と電話対応をしていた際、後方より相手車両が当方右後部に追突、車両は走行不能の為レッカー移動、当方社員は、追突で首背中等に痛みがあった。	52	50～ 99
9	11～ 12	商品の配送を終わらせ、次の商品の積み込みのため走行中、手前でトレーラーに追突され、頸部および腰部を打撲したものである。	58	10～ 29
9	1～2	第2走行車線を15tトラックで走行中、脇見により赤信号で止まろうとしていた、4tトラックに気付かず、20m手前でブレーキを踏んだが間に合わなかったので、ハンドルを右に切って回避しようとしたが、回避しきれず右後方へ追突、そのまま右前方の停車していた、4tトラックの右後方へ追突し、そのまま右側ガードレールにぶ	47	100～

		つかって停車した。衝撃により自社ボンネット部分は喪失、主に車体右前方に大きな力が加わったため、助手席は大破し運転席は変形した、変形により乗務員は胸・膝を強打した。		299
9	5~6	時速83km/h程で走行中、左後方のタイヤがバーストしハンドルを取られ横転して右腕を裂傷した、本線上を塞いだ為、後続のトレーラーが中央分離帯に突入し、避けきれなかった2トントラックが横転した当方の車両へ追突した。労働者は横転したときに右前腕部に裂傷（縫合なし。破傷風予防接種のみ）2トントラック運転手は軽傷、トレーラー運転手は怪我はなし。	36~29	10
9	17~18	本社へ戻る途中の事故で、走行中に対向車が中央線をオーバーし、自車に正面衝突され、負傷した、ブレーキをかける余地もなく突然自車の正面へ突っ込んできた。	35~49	30
9	5~6	車道下り線で直進中、前方に横転したトラック（4t）とそれに追突した（2t）トラックが有り、前方車はライトも消えて、さらに運転席のドアも開いていたため、発見が遅れ（この時自車は下向きライトだった）追突をさけるため、とっさに右にハンドルを切り、よけようとしたが、右側のガードレールに接触、ガードレールをなぎたおして止まった、その時のショックで首をいためた。	48~99	50
10	3~4	運転中、道路工事中につき仮橋の左カーブにて、迂回の標識の発見が遅れ、カーブを曲がりきれず路外逸脱し車内にて体を強打した。	38~49	30
10	10~11	配送中、外からトンネルに侵入して暗くなった時に自分の視点が合っていなかったために、前方の車に気づいたときには止まりきれなかったため、避けたが追突してしまった。	25~99	50
10	13~14	路側帯のある、道幅8mの道路で、DM便の配達を行うため、該当の通路を通過中、路側帯に駐車中のトラックに追突した。	65~49	30
10	8~9	配達先へ向けて車庫を出庫する。交差点を右折、営業所横の道路を200m程走行し、信号の無い交差点に差し掛かったところ、進行方向左側の一時停止の有る道から乗用車が一時停止を無視して交差点に進入。当方トラック左側燃料タンク付近	44~	30

		に衝突する。		49
10	1~2	荷物を配送中に上りにて、急減速し停車した前方タクシーを避けるため右車線に移動したところ、前方に落下物（タイヤ）を発見するも避けられず、乗り上げた反動で中央分離帯に衝突して停止、その時にキャビン右前面と運転席に挟まれ、左腕と右膝を骨折する。	55	30 ~ 49
10	9~ 10	トラックで家具の配達を終え次の配達先へ向かうため南行した。左折しようとしたところ曲がり切れず、運転手はバックさせようと被災者に誘導を依頼した。そのとき自転車で南行してくる人があり、それを避けようと車を右に寄せながらバックしたところ電柱と車両の間に被災者が挟まれてしまったものである。自転車の気を取られて後方の安全確認を怠ったために重大事故を招いたものである。	41	10 ~ 29
10	5~6	道路を走行中に睡眠状態に陥り、左ハンドルを切り、橋の欄干に激突。	28	10 ~ 29
10	16~ 17	信号で止まっていたとき、後方から来た普通乗用車に追突され負傷した。	46	30 ~ 49
10	21~ 22	大型トラックで野菜を輸送中、最低速度制限50km/hの街灯の無い緩やかなカーブの終わる発生場所を、20~25km/hで走行していた。相手車両を発見し、ブレーキを踏み、右にハンドルを切ったが間に合わず、追突した。	51	10 ~ 29
10	2~3	営業用中型貨物自動車を運転して配送業務中、漫然と運転し道路の形状に合わせてハンドル操作を行わなかったことで道路左側に設置されたガードレール等に衝突後、路外に転落横転し負傷したもの。	38	100 ~ 299
10	3~4	配達を終え帰宅するため自動車を運転して進行中、眠気を催し、一瞬仮眠したことにより緩やかな右カーブにおいて左側用水路に路外通脱したもの。	39	30 ~ 49
11	20~	下り左カーブを過ぎて直線道路になった時に右側にヘッドが振られ、その後左側に	49	50 ~

	21	振られた後シャーシから回転し路肩に横転した。		99
11	2～3	荷物を搬入する際、トラックでの入口が分からず、反対車線側の路肩に停車し、搬入口を確認するためにトラックから降り横断する際に、走行して来た車に衝突され、ボンネットに跳ね上げられ、頭を強く打つ重傷を負った。	68	10～29
11	6～7	梯子の上（高さ約1.4m）で植木の剪定作業中、剪定場所を変えようと動いた際にバランスを崩してしまったため咄嗟に梯子から飛び降りたところ、着地面がコンクリートだったため、右踵を負傷したものである。	30	10～29
11	11～12	惣菜作業場で発生した。惣菜作業場内の洗い場にて、お米が入った容器を洗い終わり、移動しようとしたところ、足元の床が洗い場から飛んだ洗剤を含んだ水で濡れており、足を滑らせた。その結果、後ろ向きに転倒し、右手を床に強く打ち、頭部はトレー置き of 什器にぶつけて負傷してしまった。	47	50～99
11	23～24	交差点で赤信号で停止している時後ろから大型車に追突され、首と腰を負傷した。	57	50～99
11	13～14	走行中、反対車線から前車を追い越そうとした車両（乗用車）が自社車両と正面衝突をしてしまった。	29	100～299
11	17～18	走行中、車道に停車している車両を前方不注意により気付くのが遅れ、停車中の右側後方部と自車両の左前方が追突し車両破損と怪我を負った。	22	50～99
11	19～20	被災者は、勤務先の業務（営業職）上において、得意先に向かう途上で四輪車を運転していた。運転中に、車内で探し物をしていたところ、進路上が渋滞しているのに気付くのが遅れ、目前で急制動を試みたが間に合わず、前走車の相手に追突してしまい、これにより受傷したものである。	55	10～29
11	11～12	ダンプから材料を下ろして当社場内の坂道を移動中、荷台を上げたまま移動していたことに気付くのが遅れ、坂の途中にあるシャッターゲートに荷台が接触し、シャッターが壊れて部品がダンプに落下した。その反動で運転室内にて身体を	57	1～9

		打って負傷した。		
11	3~4	荷物を降ろして帰るため運転中、原因は判明しないがコースを外れ車止めを乗り越げ海にキャビンから落ち、フロントガラスが割れ水が入り逃げ遅れて水死した。原因については警察で調査中である。	62	10 ~ 29
12	14~15	積み込みの為、荷主のところへ向かう途中、高速道路を走行中、吹雪による視界不良の中で後方より走行して来た大型トラックが自社大型トラックに追突して来た事故により負傷したものである。	48	30 ~ 49
12	2~3	4tトラックに乗車し、荷物（積載量500kg~1t）を積んで出発し、片側1車線の道路を走行中、強風に煽られて、センターラインを越えてしまったため、対向車線を走行していたトレーラー（10t）と正面衝突し、被災者が死亡したものである。	35	10 ~ 29
12	2~3	走行中、対向車線を走行していた4tトラックが、風にあおられてセンターラインをわり、当社トラック側の車線に入り、正面衝突した。衝撃でトラックが横転し、右ひざ及び首を負傷した。	44	10 ~ 29
12	6~7	納品業務が終了し、営業所へトラックで戻るため走行中、居眠り運転となり、交差点で信号待ちをしていた大型トラックに追突し、キャビンが変形したことにより、左足がはさまり、大腿骨膝蓋骨の骨折となった。	56	30 ~ 49
12	15~16	高速道路を走行中、渋滞していた所に自車が追突して、前の車両5台を玉つきした事故である。	44	1~ 9
12	17~18	当社倉庫間で製品を取りに行くため、助手席に同乗し走行中、前方車両が赤信号で停車したことに14m手前で気づき、ブレーキをかけようとしたが、踏み間違えてそのまま前方車両に追突した。	50	50 ~ 99
12	11~12	交差点を右折した後、道路左側に設置されていた電柱の支線に衝突し、車輛と電線を破損させた。その衝撃の影響で首・肩に痛みを生じた。	20	50 ~ 99
12	5~6	赤信号で停止していたところ、後方から追突してきた。	72	100 ~ 299

12	14~15	最終便に於いて、連絡道路に進入する際に、歩行者が横断中のため横断歩道手前で安全確認中に追突された。 ※被災者A：頸椎捻挫・腰部打撲 被災者B：頸椎捻挫・腰部打撲・両肘打撲	31	~ 999	500
12	14~15	最終便に於いて、連絡道路に進入する際に、歩行者が横断中のため横断歩道手前で安全確認中に追突された。 ※被災者A：頸椎捻挫・腰部打撲 被災者B：頸椎捻挫・腰部打撲・両肘打撲	29	~ 999	500
12	11~12	納品終了後、前方大型トラックが信号で停止したところ、停止したことに気づくのが遅れ、急ブレーキを踏んだが追突してしまった。 その際に左足の膝を運転席ハンドル下部分にぶつけ怪我をしてしまった。	57	~ 49	30
12	1~2	当社運転者は、入社後に業務前点呼を受け、荷主営業所に出発し、到着後に荷物を積み込み、西に向かって走行中にエンジンが故障した。 そのためハザードランプを点灯し、左側に寄せて停車し、車外に避難したところ、運送車両に追突され、当社車両と乗務員に衝突した。 乗務員は多発性外傷で死亡した。	65	~ 29	10
12	17~18	飲料水パレット13tを運ぶために走行中、大型ダンプが中央分離帯から（約30cm）飛び越えて自車両の正面に衝突した。	49	~ 29	10
12	11~12	インターチェンジ付近で、トラックを運転中に前方不注意で渋滞中の車に追突し、肋骨を骨折した。	49	1~ 9	
12	6~7	高速道路走行中、前方のトラックに追突し、反動で路側帯に停車中のトラックにも追突し、死亡した。	52	~ 29	10
12	11~12	住宅地の配達で駐車後、後方の荷台から配達商品を取り出し、車両後方から前方へ出ようとしたところ、対向車が駐車車両横を通過する際、車両側面前方と接触し転倒して、右足首を剥離骨折した。	22	~ 99	50
12	18~19	配送業務の途中、看板の確認が遅れ、雨のなかタイヤがスタッドレスタイヤであったためか制御不能となり、左側法面へと激突し、3回転する単独横転事故を起こした。 現場は日陰になる場所で、冬場の夜間であったため凍結していたかもしれな	40	~ 29	10

		い。		
12	4~5	走行中、赤信号のため停車していたの軽トラック車両に追突し、受傷した。	44	100 ~ 299
12	2~3	上りの走行車線を走行中、脇見運転をしてしまい、前を走行していたタンクローリーにぶつかりそうになり、慌ててよけようとしてハンドルを左に切ったが間に合わず、タンクローリーの左後部に追突して横転し、負傷した。	58	30 ~ 49
12	12~13	緩やかな坂道（公道）を委託業務にて配送運転中に、緩やかなカーブがあったため曲がろうとしたところ、ハンドルが思ったより効かなかったため、車がカーブを曲がりきれず、右側にあった段差に車が乗り上げてしまい、そのまま約20m下にある民家の畑に車ごと斜面を3回転して落下した。なお、車は社用車であり、元々ハンドルの効き具合が少し悪かった。	25	1~ 9
12	21~22	運行中、交差点で信号が赤から青に変わり、発進した直後、後方から来た大型トレーラが追突し、追突された衝撃でむち打ちの症状がでた。	34	100 ~ 299
12	10~11	道路に面した車両周辺で積み下ろし作業中に、当該車両と離合する相手方車両と接触し、交通事故に遭った。	48	50 ~ 99
12	4~5	配達のため、南進し交差点へ進入したところ、西進して来た軽自動車は信号を無視してノンストップで進入し、当方の車側面に衝突し、当方の車両が横転した。横転した際、右手の薬指と小指を負傷した。	34	30 ~ 49
12	7~8	営業所駐車場で停止する際、ブレーキとアクセルを踏み間違い、縁石に乗り上げ、そのまま後進し転落した。	67	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html

